

関西1地区

高校生のための心理学講座シリーズ
心理学と社会 —こころの不思議を解き明かす—

2017年 8月23日(水) 10:00~16:30

参加費無料・事前申込制
定員180名(先着順)

立命館大学 大阪いばらきキャンパス A棟 AN211教室

JR茨木駅 徒歩5分 阪急南茨木駅 徒歩10分 モノレール宇野辺駅 徒歩7分

<http://www.ritsumeui.ac.jp/accessmap/oic/>

※ 筆記用具をご持参ください。上靴は必要ありません。昼食をお持ちください。

◆ 企画・司会：佐藤 隆夫 (立命館大学)

10:00~11:00 知覚心理学	佐藤 隆夫 (立命館大学)	視覚、聴覚などが果たす機能、つまり「知覚」の果たす機能、またそれを実現する仕組みの解明は心理学にとって重要な領域をなしています。しかし、なぜ、心理学で知覚?と思う方も多いかと思えます。この講座では、まず、なぜ心理学で知覚の教育・研究をするのか、心の働きにおける知覚の役割、さらに、知覚、特に視覚の仕組みについて語り、いかに視覚のメカニズムが心のメカニズムと密接に関係するのかという点まで論を進めたいと思います。
11:10~12:10 認知心理学	三宮 真智子 (大阪大学)	私たちが他者とコミュニケーションをとる中で、しばしば経験する「誤解」。誤解によって、人間関係に亀裂が生じることも決して珍しくはありません。今回は、私たちが悩ませる、このやっかいな誤解という問題について、心の働きを研究する認知心理学の観点から、その原因と対策を考えてみたいと思います。誤解はなぜ起こるのか。そして、どうすれば防ぎ得るのか。高次認知機能である「メタ認知」を働かせることが重要なポイントとなることを、わかりやすく解説します。
13:00~14:00 社会心理学	三浦 麻子 (関西学院大学)	心理学は人間の性格や個性を深く追求する学問だ、と思いませんか?確かにそういう側面はありますが、それだけではありません。社会心理学は、人間は周囲の状況に影響を受けやすい「社会的動物」だと考え、その影響メカニズムを解明するために、実験や調査を通じてデータを収集し、それを科学的視点から分析する学問です。本講座では、2つの社会心理学の古典的研究を事例に、この学問の面白さをわかりやすく紹介します。
14:10~15:10 臨床心理学	川野 健治 (立命館大学)	私たち人間は合理的に考えることができます。でも、時には、理屈に合わない行動を選んでしまうこともあるのではないのでしょうか。あまりに心がつらい時に、体の痛みでそれに蓋をしてしまう、自傷や自殺もその一つでしょう。心理学はこの複雑な出来事をどのように考えるのか。そして、なにができるのか。小学校で実施した自殺予防教育プログラムを紹介しながら、認知や感情、それに対人関係といった観点から、わかりやすく解説します。
15:20~16:20 健康心理学	田中 芳幸 (京都橘大学)	心と身体には、私たちが普段に思う以上の深い繋がりがあがるようです。この講座では、生活の中で誰もが経験している「ストレス」を取り上げて、この繋がりについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。自分自身のストレスの状態を知ったり、その対処方法を考えてみたりするきっかけにもなる内容です。心と身体の健康をより良い状態に、心身の病気にならないために、そんなことを考える健康心理学に触れながら、ストレスと上手に付き合う方法を考えてみませんか?

★ 参加申込方法 ★

▶ Faxでのお申し込みは以下のFax申込フォームにてお申し込みください (Fax番号 03-3814-3954)

▶ メールまたは往復はがきでのお申込み

「関西1地区参加希望」と明記の上、住所、氏名、年齢、所属(高校名・学年等)、電話番号をお知らせください。

※ 複数名でのお申し込みの場合も、皆さま分の情報をお知らせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル 公益社団法人 日本心理学会 メールアドレス: jpa-highschool@psych.or.jp

※ お申し込みいただいた順に受付番号をEメール、Fax、はがきにてお知らせしますので、住所、Fax番号、メールアドレスを必ずご記入ください。

※ 往復はがきでお申し込みの方は、返信用はがきに住所をご記入ください。

※ 高校生、教職員の方向けの講座ですが、保護者の方、一般の方の参加も歓迎いたします。ご一緒にお申し込みください。

Fax 申込フォーム【関西1地区】

フリガナ		学校名	_____ 高等学校	
参加者氏名	(男・女)	学 年	_____ () 学 年	
住 所	〒 _____			
メールアドレス			年 齢	
Fax番号				
電話番号				

※ お知らせいただいた個人情報は、本事業の受付目的にのみ使用します。